

中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表会で口頭発表

8月18日に第24回中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会が高知県で開催されました。

本校からは数学分野の「 n ナッチ数列の隣接2項間の比の極限」について研究した理数科3年生2名が参加しました。

前日の17日は自分達のリハーサルを終えた後もノートを取りながら他校のリハーサルを見学し、自分達のプレゼンと比較しながら伝わりやすいプレゼンについて考えました。ホテルに戻った後も夜遅くまで発表練習を行いました。

翌18日の午前中に発表を行いました。フィボナッチ（連続2項の和）での結果を、トリボナッチ（連続3項の和）、テトラナッチ（連続4項の和）・・・ n ナッチ（連続 n 項の和）と一般化を行ったことに対して大学の先生からお褒めの言葉をいただきました。表彰式では優秀賞を受賞しました。

今回の生徒の様子を動画にまとめたのでこちらからご覧ください。

<https://youtu.be/eXmKGIrooYA>



【生徒の感想】

・前日2人で練習したあと、自分の部屋に戻り一人で練習した。気づいたら3時になっていて、当日は寝不足だった。しかし不思議と目は冴え頭もスッキリしていた。眠さよりもこれから始まる大会へのワクワク感が勝っていたんだと思う。他校の研究に対して何度か質問することができた。わかりやすい説明をしてくれて、自分たちが数学を好きなのと同じように化学や生物が好きなんだと感じた。

・レベルの高い発表会だった。研究内容だけでなくプレゼン力の高い発表が多数あり、自分たちの研究が入賞できると思っていたいなかった。最優秀賞を受賞した発表は圧倒的だった。次の発表会のマスフェスタに向けて参考にしたい。岡山県代表として参加したが、上には上がいると感じた。受賞のために研究をしてきたわけではないが、自分たちの研究を大学の先生に理解して、認めて、褒めてもらえて嬉しかった。